

nissshin

広報にっしん

2019

2

<http://www.city.nisshin.lg.jp/>

No.769

**日進市道の駅基本設計を作成しました
ほっとカフェで「ほっ」と一息**

日進市消防出初式が1月13日、スポーツセンターで開かれました。式典後は、保育園児たちが雲一つ無い青空へ一斉に風船を放ち、「無事故・無火災・無災害」を祈りました。

市民が集いにぎわいをもたらしす道の駅を目指して

日進市道の駅基本設計を作成しました

市では、主要地方道瀬戸大府東海線沿いを計画地とし、「日進市人口ビジョン・総合戦略」に位置付けられた取り組みとして、道の駅整備事業を進めています。

平成30年2月に策定した「日進市道の駅基本計画」に基づき、設計業務を進めており、広報紙などで募集した市民活動団体の皆さんとの意見交換や関係機関などとの調整を踏まえて、基本設計を作成しました。

主な施設概要は、敷地面積約20,000平方メートル、道路利用者の休憩機能として駐車場施設（101台）とトイレ施設、市の地域連携機能の施設として鉄骨造平屋建ての屋内施設約2,200平方メートルと屋外広場・公園、駐車場施設（65台）を整備。屋内施設には子育て支援施設をはじめ飲食施設、農産物直売・物販施設、多目的施設、DMO※活動拠点（事務所）などを整備する他、南海トラフ地震などの大規模災害時には、第2次緊急輸送道路（主要地方道瀬戸大府東海線）である路線特性を生かし、救助救援活動部隊の活動拠点や緊急時の防災ヘリポートとして活用できる防災機能を有しています。

こうした道の駅の整備を契機に、さらなる市民間の交流や機能連携が図られ、にぎわいの創出、持続的なまちの発展と活力につながっていくことを期待し、今後も事業を進めていきます。

【道の駅の整備コンセプト】

道の駅の整備コンセプトは「市民が集いにぎわい成長し都市をデザインする『道の駅』」。

地域の個性や特性、地域資源を生かし、子育て支援、防災・減災、農業振興などの地域課題の解決とともに、これからのまちづくりに向けた地域活性化の拠点としての整備を目指しています。

なお、基本設計の内容をまとめた基本設計概要書と事業内容をまとめたPRパンフレットも作成しました。詳細については、市ホームページをご覧ください。

※DMO(Destination Management Organization)地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役となる組織のことです。



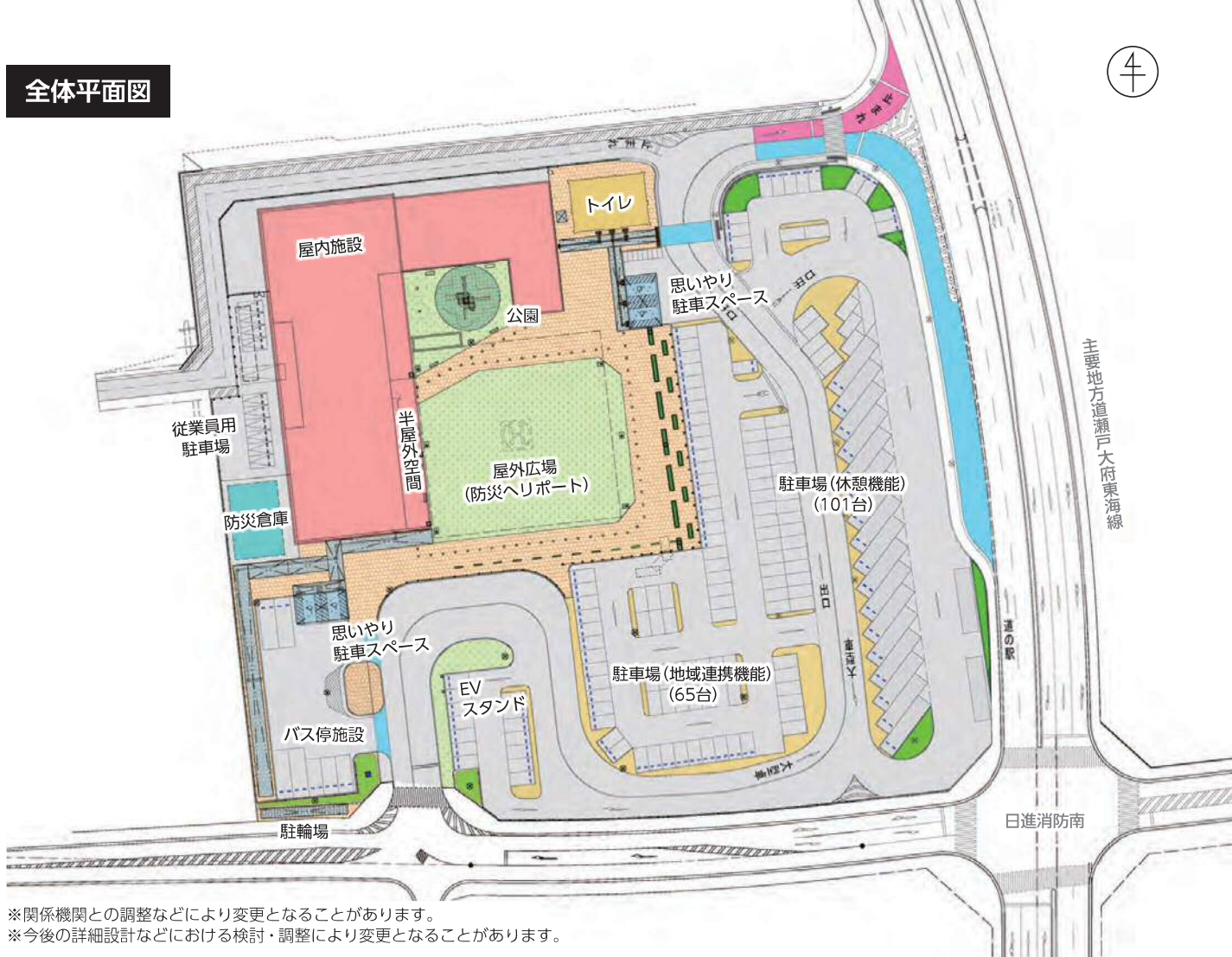
道の駅基本設計概要書(右)とPRパンフレット(左)は市ホームページからご覧いただけます。

◎都市計画課 基幹施設整備室
☎ 0561・75・2706
☎ 0561・73・1871
✉ kikanss@city.nissin.lg.jp

※関係機関との調整などにより変更となることがあります。
※今後の詳細設計などにおける検討・調整により変更となることがあります。

全体平面図

④



※関係機関との調整などにより変更となることがあります。
 ※今後の詳細設計などにおける検討・調整により変更となることがあります。

施設概要

- 整備路線 主要地方道 瀬戸大府東海線
- 計画地 日進市本郷町前田 地内
- 敷地面積 約20,000㎡
- 建築面積 約2,200㎡
- 構造 鉄骨造 地上1階
- 概算事業費
 - 道の駅整備費 約14億円
 - 周辺道路等整備費 約2億円

計画地



主な施設内容

機能名	施設名	具体的施設名	施設規模
休憩機能	駐車場施設	大型車駐車ます	19台
		小型車駐車ます	80台
		思いやり駐車スペース	2台
	トイレ施設	トイレ施設	約150㎡
情報発信機能	情報発信施設	情報発信施設	約140㎡
		休憩施設	休憩施設
地域連携機能	駐車場施設	小型車駐車ます	63台
		思いやり駐車スペース	2台
	トイレ施設	トイレ施設	約130㎡
	飲食施設	飲食施設	約340㎡
	農産物直売・物販施設	農産物直売・物販施設	約540㎡
	コミュニティ・交流施設	子育て支援施設	約240㎡
		屋外広場	約1,330㎡
		公園	約370㎡
多目的施設		約270㎡	
防災機能	防災施設	DMO活動拠点(事務所)	約90㎡
		管理施設	約110㎡
		救助救護場所	駐車場兼用
		防災ヘリポート	屋外広場兼用
		防災倉庫	約150㎡
その他機能	その他機能	耐震性貯水槽	地下施設
		自家発電装置	-
その他機能	その他機能	バス停施設	約1,000㎡
		雨水貯留施設	地下施設

日進市道の駅の建築デザイン

〔建築設計コンセプト〕

さまざまな活動が共存する
機能的なゾーニング

飲食施設、農産物直売・物販施設を「にぎわいゾーン」、子育て支援施設と多目的施設を「コミュニティゾーン」、情報発信施設とDMO活動拠点を「情報発信ゾーン」としてまとまりを持たせることで機能的なゾーニングとしました。

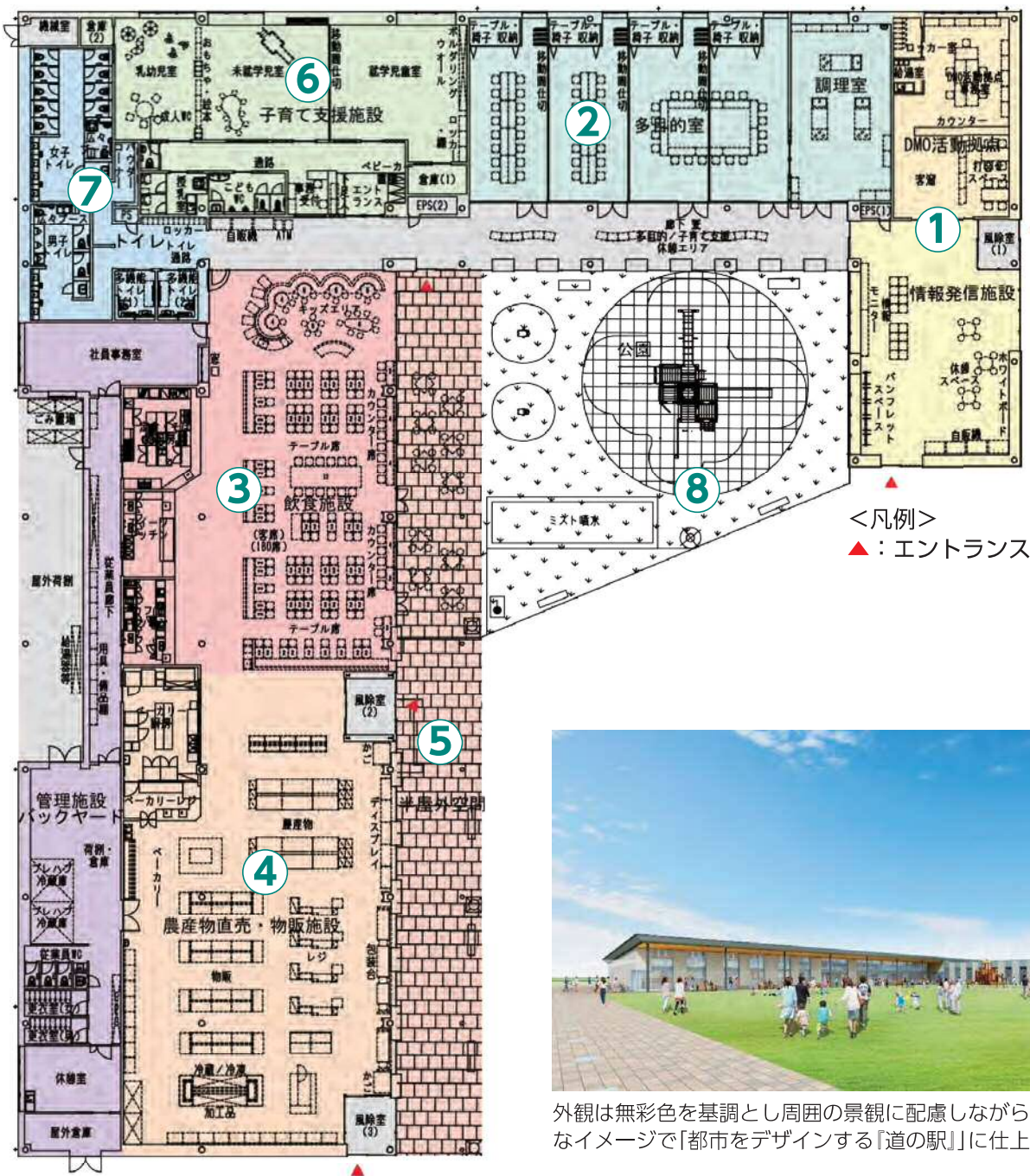
多彩な活動が広がる内と外が
つながる建築

「にぎわいゾーン」前面に半屋外空間を設けることでイベント利用や休憩スペースなどに活用でき、施設のにぎわいをPRする場となります。さらに親が公園で遊ぶ子どもたちを見守りながら、食事や休憩をとることが出来ます。

利用者にわかりやすく、
管理者にも使いやすい動線

車やバス、自転車など、どのアクセス手段からも視認性のよいエントランス配置とし、シンプルで分かりやすい利用者動線にしました。また、利用者と管理者の動線が交差しないバックヤード動線などを意識することで、効率的な管理運営ができる施設としました。

建築平面図



外観は無彩色を基調とし周囲の景観に配慮しながらも、開放的で都会的なイメージで「都市をデザインする『道の駅』」に仕上がっています。

※関係機関との調整などにより変更となることがあります。
※今後の詳細設計などにおける検討・調整により変更となることがあります。

道の駅の主な施設

① 情報発信施設・DMO活動拠点

- DMO活動拠点は情報発信施設と隣接した配置とすることで、休憩機能利用者と観光客の双方へ市内観光情報や近隣市町村の情報を提供します。
- 道路情報や友好自治体などの情報提供を行う他、フリースペースとしても利用でき、市民自治活動の交流の場としても活用できます。また、災害時には災害に関する情報の提供を行います。

② 多目的施設（多目的室・調理室）

- 4室の多目的室の間仕切壁を移動間仕切とすることで2室以上を一体とした大空間の確保が可能です。市民自治活動の打ち合わせから発表の場まで幅広い利用ができます。

③ 飲食施設

- フードコート形式の飲食施設は施設全体の中央に位置し、気軽に立ち寄り、食事や軽食をとることができます。
- 屋外を見渡せる客席で公園で遊ぶ子どもたちを見守りながら家族で休憩することができます。キッズ席も完備します。



④ 農産物直売・物販施設

- 農産物直売・物販施設と飲食施設は、メインエントランスを間にして一体の空間とします。それにより双方を気軽に行き来することができる施設となります。

⑤ 半屋外空間

- 飲食施設、農産物直売・物販施設の前面の大ひさは、半屋外空間として休憩・催事スペースなど多目的に利用できます。



⑥ 子育て支援施設

- 幅広い年齢層の子どもたちが利用できるように、乳幼児エリア、未就学児エリア、就学児童エリアを配備し、年齢に応じた活動に対応できる施設とします。
- 子ども用トイレや授乳室を完備します。
- 駐車場があり、気軽に遊びに行けるため、子育て世代のための出張相談や子育て講座などの開催の場として利用できる施設となります。



⑦ トイレ施設

- 多機能トイレやベビーカーと一緒に入れる機能拡張ブースを充実させ、多様な利用者の利便性に配慮します。
- 多機能トイレ**
多目的シート、手すりなど
- 機能拡張ブース（男女トイレ内：各1ブース）**
オストメイト、ベビーシート、ベビーチェア、手すりなど



⑧ 屋外広場・公園

- 屋外広場周辺にコンセントや散水栓を配置しました。マルシェやミニコンサートなど市民が参加するイベントに利用できます。
- 公園には子どもが体を動かして楽しめる遊具の他、子どもに人気があるミスト噴水を配置します。

